

島民の手により保存され、防風、防火、防潮の目的で屋敷林として古くから利用。赤瓦の民家と調和のとれた景観を創出。



仲里村は、那覇市の西方約一〇〇キロの洋上にある久米島の西側を村域とする人口約五五〇〇人の村である。

久米島は琉球の粹を集めたような美しい島であることから、古くは球美島とも呼ばれた。また、昭和五九年「世界

の美しい島」に日本代表として推薦されたことは記憶に新しい。島には随所に琉球王朝時代の史跡や古い民家の赤瓦と緑豊かなフクギ並木との調和した様が見られ、落ち着いた景観を成している。フクギは熱帯原産で、生長は遅いが、材質は硬く頑丈で、葉も厚く、防風、防火、防潮のための屋敷林として古くから植えられてきた。また、久米島島の染色材としても利用されている。

仲里村真謝部落のフクギ並木はとりわけ美しく、「真謝の清らフクギ」の名で親しまれており、住民は毎朝道路を掃き、水をまき、肥料を与えて大切に守り育てている。道路の拡幅に伴い伐採が保存かで問題になったときにも、島民の努力により保存がなされた経緯をもっている。

### データボード③〇

- ① 沖縄県仲里村字真謝
- ② 仲里村役場 ☎098985-8112
- ③ 延長50m、幅員10m
- ④ フクギ並木
- ⑤ 仲里村まつり